

9月定例会市議会

一般会計に3億9871万円を補正  
各会計補正予算など16議案を可決

市議会9月定例会は9月29日から6日間の会期で開かれ、当局から提出した昭和44年度一般会計補正予算、土地開発基金条例の制定など15議案を慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。なお、欠員中の副議長には厚生委員長の服部国太郎氏が選ばれ、厚生委員長の後任には遠藤松吉氏が就任しました。

昭和44年度一般会計補正予算は、3億9,871万円を追加し歳入歳出の予算総額は57億4,816万円になりました。補正されたおもなものは、歳入では市税が2億7,311万円、地方交付税が2,000万円、諸収入が5,543万円、国庫支出金

が1,135万円などです。歳出は土木費が2億1,123万円、総務費が1億6,413万円、商工費が2,084万円、消防費が2,132万円などです。

歳出のうち土木費は2億1,135万円ですが、おもなものは伝法原田線などの道路新設改良費に1億1,345万円、早川橋の改良に201万円、旭化成東側水路の改良に1,300万円、木の宮公園の整備に515万円、田子浦鷹岡線などの街路事業費に1,121万円、市営住宅の建設に5,021万円、などを追加しました。総務費は1億6,413万円ですが、これは公共事業を円滑に行なうため「富士市土地開発基金条例」を制定したのにもない



【増改築のきまつた元吉原小学校】

9月議会のうごき

- 県東部地区議事会**  
(4日・富士宮市・議長出席)  
県議長会への提出議案について討議しました。
- 経済、観光合同委員会**  
(11日・鷹岡公民館)  
夏まつりの反省と改善すべき点について討議しました。
- 総務委員会協議会**  
(16日・市民会館)  
元吉原小の火災復旧と改築、市営球場の処分、旧吉原伝染病舎の敷地一部貸与について当局の説明を聞きました。
- 富士川火力発電所対策特別委員会**  
(17日・市民会館)  
富士庵原地区公害対策懇談会のその後の経過について、大手工場との公害防止協定について、請願の取り

- 扱いについて協議しました。
- 県下市議会議長会**  
(18日・清水市・議長出席)  
県道改良事業の地元負担金の廃止について、公共用地先行取得債の許可基準の緩和の要望についてなど8議案について協議しました。
- 庁舎建設特別委員会**  
(19日・本庁会議室)  
ブラインドおよび救助袋設置工事について当局の説明を求め、工事現場の視察を行ないました。
- 身延線複線化対策特別委員会**  
(20日・本庁会議室)  
身延線西回りの開通記念について
- 議会運営委員会**  
(26日・市民会館)  
9月定例会市議会の日程について協議しました。

副議長に  
服部(国)氏



市議会9月定例会で、欠員中の副議長選挙が行なわれ、服部国太郎氏(65歳・森島125)が賛成多数で当選しました。

服部新副議長は、昭和22年に富士町議会議員に就任してから町議2期市議5期(特例2期)をつとめ、この間、議長、副議長、厚生委員長、総務委員長、富士バイパス特別委員長、富士駅改修特別委員長などの要職を歴任してきました。

なお、服部氏が副議長に就任したのにもない、厚生委員長を辞任したので、委員の互選により遠藤松吉氏(54歳・広見町3)が新しく厚生委員長に選ばれました。

その基金1億3,500万円がほとんどをしめています。

商工費は2,084万円ですが、このうち公害対策費が1,781万円で、新庁舎へ設置されるテレメーターの負担金、排煙脱硫装置の研究補助金などにあてられています。

消防費は2,132万円ですが、新庁舎の建設にともないハジゴ車を2,100万円で購入します。

なお、元吉原小学校の増改築は、債務負担行為で、今年度から2カ年継続事業で工費6,080万円で進んでいます。新校舎は鉄筋3階建てで、延面積は1,534平方メートル、普通教室12教室がつくられます。

このほか、下水道事業特別会計、土地区画整理事業特別会計、病院事業会計など10会計の補正も行なわれました。

また、土地開発基金条例は、公共事業を円滑にすすめるため、用地の先行取得を目的に制定されたものです。基金は1億3,500万円です。

住居表示審議会条例の一部改正は今年度から今泉・原田地区で新住居表示を実施するのにもない、区域が広いので委員の定数25人を28人にしたものです。

市道路線の廃止は、水戸島東芝線の上徳間地先105線を廃止したものです。